

ddRAD-Seq

多様なリクエストを想定して、参考見積もりを用意しました。
 配列分析のみの事例では、異なる検体数で費用を算定しています。
 情報解析をご希望の方は、次頁の事例についてもご参照ください。



タイトル	ddRAD-Seq解析 [配列分析のみ]			
提供試料	<input checked="" type="radio"/> DNA (288 検体) <input type="checkbox"/> 植物サンプル ()			
DNA抽出	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="checkbox"/> あり (<input type="checkbox"/> 磁気ビーズ法 <input type="checkbox"/> スピンカラム法)			
情報解析	<input checked="" type="radio"/> なし (リード配列のみ納品します)) <input type="checkbox"/> あり ())			
作業内容	1. DNAの品質確認 2. ddRAD-Seq用ライブラリ作製 (制限酵素 : PstI - MspI) 3. 塩基配列分析 DNBSEQ-G400RSによる100bpのペアエンド分析×2レーン 11.2億リード、サンプルあたり平均約389万リード ※リード数はあくまで目安です			
納品物	<ul style="list-style-type: none"> ・受託業務報告書 ・塩基配列データ (Fastqファイル) ・分析に供試したDNAの残り 			
参考見積	検体数	費用 (税込)	レーン	リード数
	96	391,600円	1	5.6億リード、平均約583万リード/サンプル
	192	515,900円	1	5.6億リード、平均約292万リード/サンプル
	288	783,200円	2	11.2億リード、平均約389万リード/サンプル
	384	907,500円	2	11.2億リード、平均約292万リード/サンプル
標準納期	作業開始後40営業日			

制限酵素に関する補足 :

弊所において、複数の植物種に対し複数の制限酵素組み合わせでddRAD-Seqで取得できるバリエーションの比較をしたところ、PstIやMspI, EcoRIなどゲノム上に多数存在する配列を認識して切断する制限酵素では、取得できるバリエーションの数とゲノム上の散在の程度に有意な差はありませんでした。そのため、特にご指定がない場合は、どの植物種においても「PstIとMspI」で切断することをご提案しています。